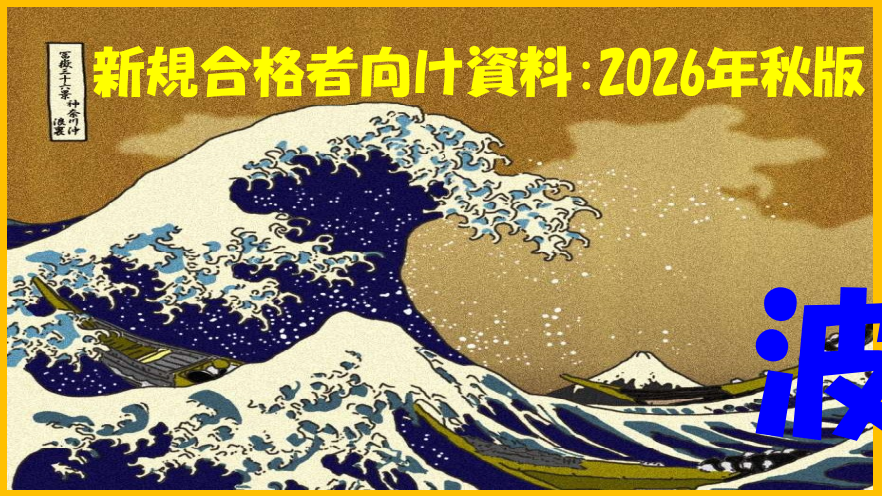
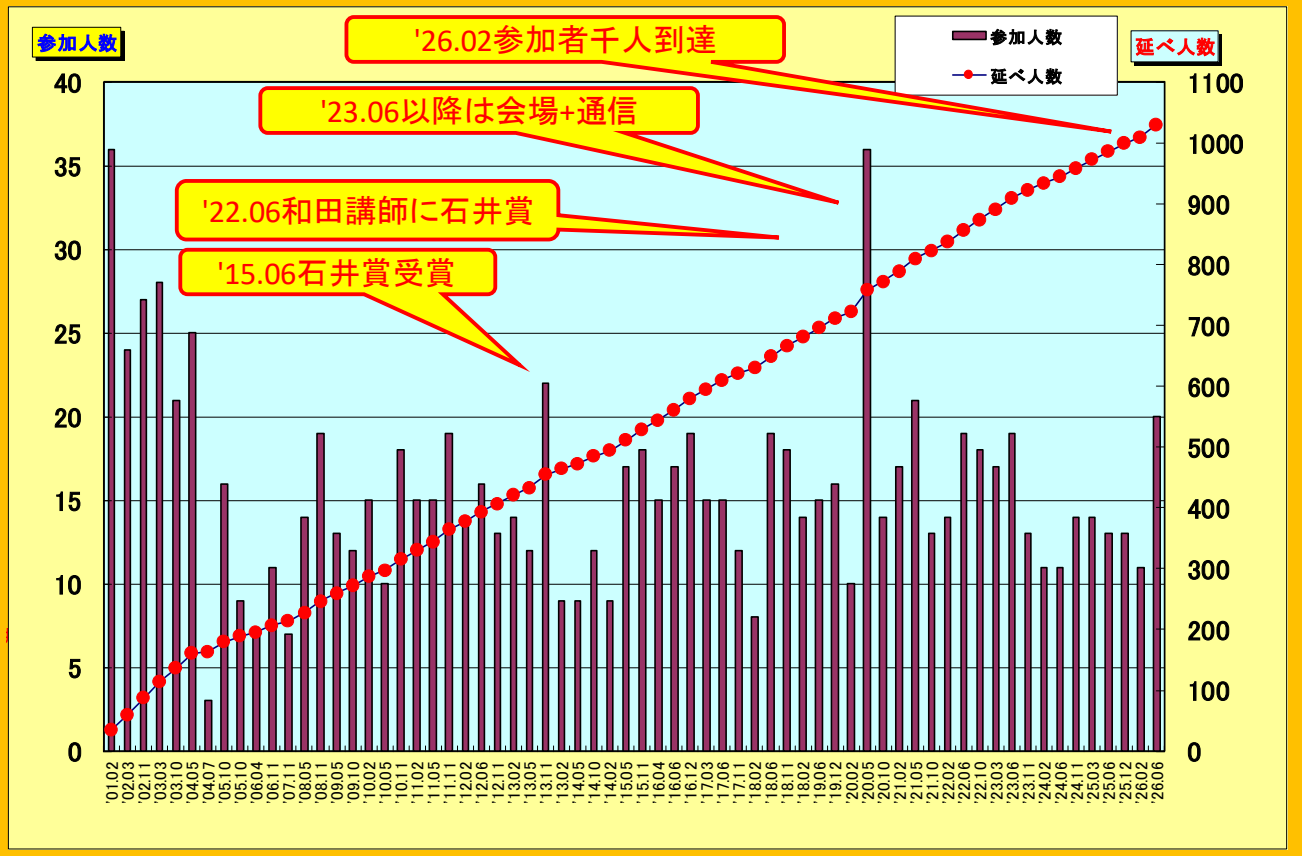


気象予報士になったら、
一度は、波浪の予測をやろう！

波浪研究会のご案内



研究会は年3～4回開催です

2001年から活動
延べ66回開催
会場+通信で開催

次回は2026年12月05日（土曜）に研究会を予定

波はどうして起きる

風速 → ｴﾈﾙｷﾞｰの大きさ

吹送時間　→ ｴﾈﾙｷﾞｰ注入期間の長さ

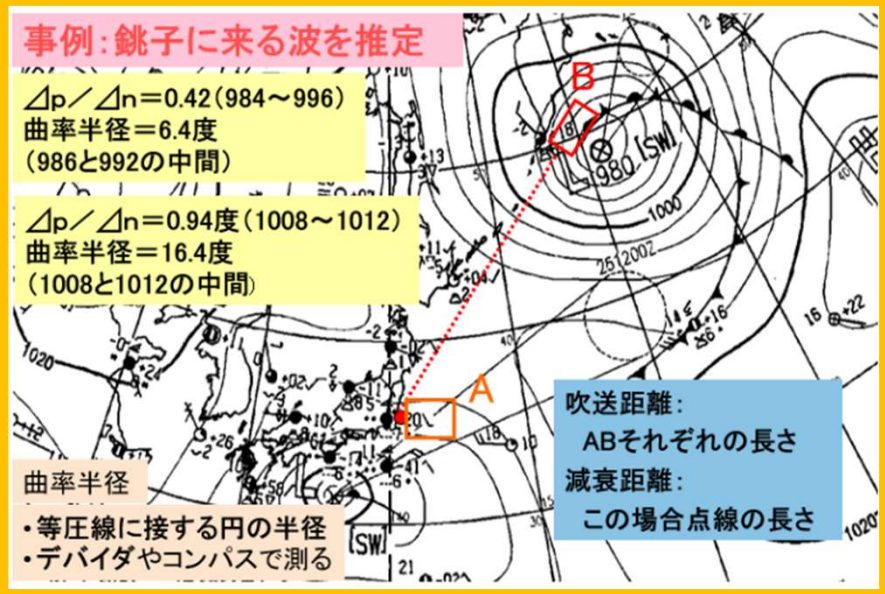
吹送距離　→ ｴﾈﾙｷﾞｰ注入領域の長さ

波浪予測の歴史(ｴﾋﾟｿｰﾄﾞ)

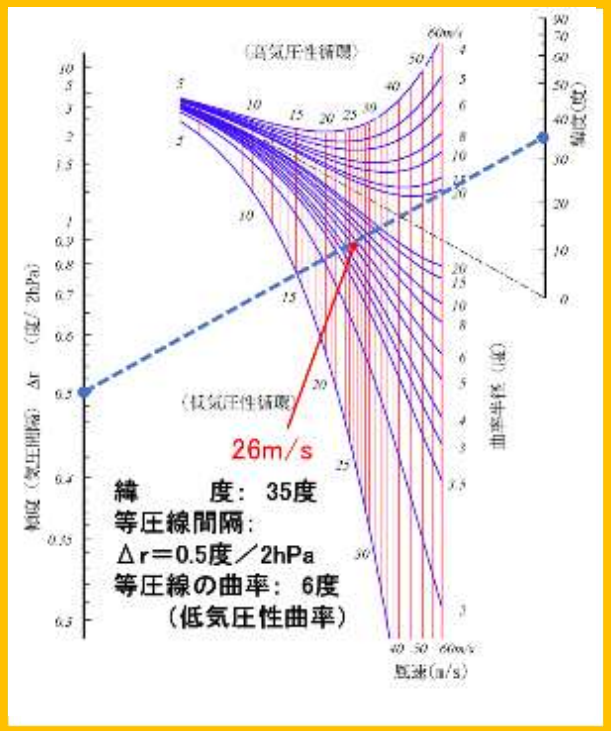
SMB法(波浪予報)SMB method
初めて、第二次大戦の末期に実用化された波浪予報法で、ノルマンディー上陸作戦を成功させた一因とされる。
名称は開発者のSverdrup、Munk、Bretschneiderの頭文字を取ったもの。

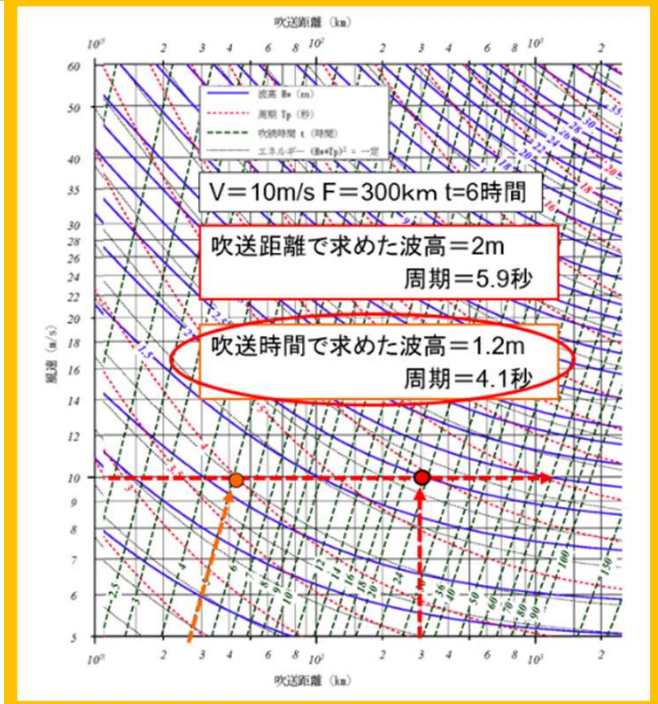
ある地点の波浪の推定　作業の一端をご紹介

1）天気図にて
- 天気図を見て、風域を特定
- 吹送距離、気圧傾度等の読取



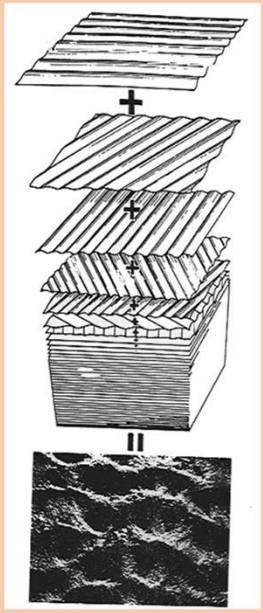
2）傾度風計算　3）波高・周期計算



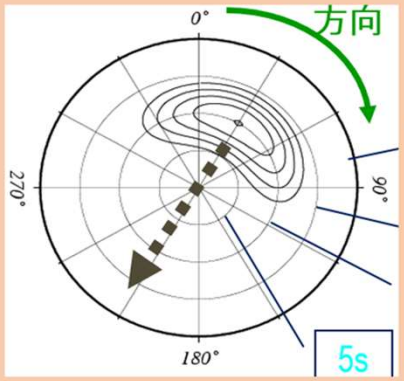


波浪モデルと波浪スペクトルの解説

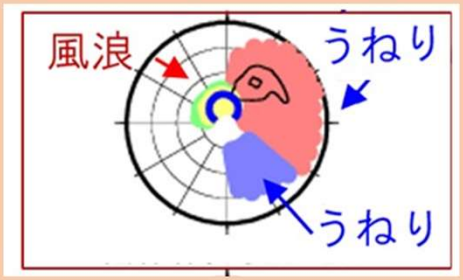
波浪スペクトル
複雑な海面の状態を様々な向き・周期・波高の
単一波の重ね合わせで表現(波浪モデルの物理量)



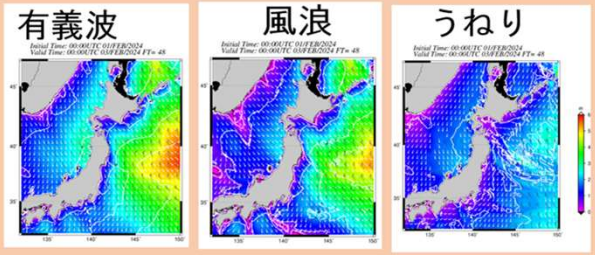
周期方向別のエネ
ルギー分布を評価



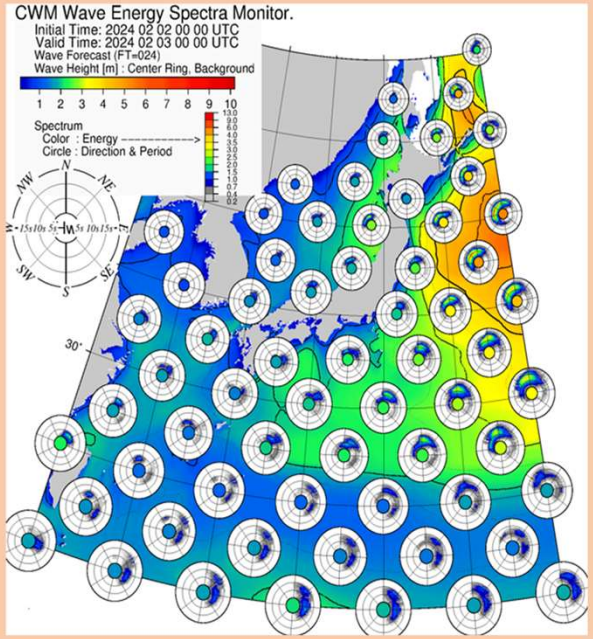
スペクトルの分布から、
うねりと風浪の成分を分離



沿岸波浪モデルの結果



沿岸波浪モデル波浪スペクトル



15年継続している観測実習(夜はあんこう鍋)

波浪予想にチャレンジしてみましょう！

- 初参加者には、別途、考え方や計算手順を丁寧に指導
- 通常、例会は、都内中央区の区民館
- 年１回は、現地観測会を大洗海岸で実施
- 会場とリモートのハイブリッド開催で全国にも対応

☆連絡先（氏名、メールアドレス、その他）：

○代表世話人　船曳佳弘　harouyosou@gmail.com

○ホームページ　http://www.yoho.jp/member/umi/

○メーリングリスト　umi@camj.jp

ホームページ

事務局：
世話人メンバー
‘25.12より2名増